

… 雨でも休まず；第108、109、110回 …

「若柳嵐山の森・小原本陣の森」から

- ・活動1：若柳嵐山の森：7月5日(第一日曜)、参加費300円。
弁当持参。作業後、運営会議：於/駅前桂北公民館
- ・活動2：小原本陣の森：7月13日(第二日曜) 参加費300円。
弁当持参、9時15分駅前集合。車分乗で行く。甲州古道復活プロジェクト。小原神社～町有林を抜けて小原尾根への開削道づくり等
- ・活動3：若柳嵐山の森：7月20日(第三日曜) 参加費500円。
弁当は飯だけ持ってくる事。
- ・活動3は、危険防止/必ず申込必要：TEL&FAX 03-3411-1636
- ・集合：相模湖駅前9時15分。8時42分、9時02分のJR高尾発に乗るべし。
- ・服装；汚れても良い格好・着替え 傘 足元が滑らない履物
- ・持参品；軍手、自分の箸、皿、お椀。万一の怪我に備えて…保険証写し
そして、作業を楽しむ“ゆとり”と怪我をしない「心構え」

生活者が考える … 森林再生

和歌山県と三重県が組んで森林の再生のために「緑の雇用政策」を打った。緑の雇用には、失業対策と言うよりは地球温暖化対策、過疎化対策、森林再生環境対策と一石三鳥の積極的明るさがあるから話題を読んだ。課題は所得だが、森林作業は精々、150～200万円位にしかならない。そこを野菜づくりなど遊休農地の活用もあり300万程度か。晴耕雨読の心の所得になるとの歌い文句で少しはぐらかされた気分にもなるが、そこは生き方の問題。 … 日経新聞より

神奈川県では、水源環境税を一般税の中に組み込む事を2005年を目標にしているが、我々のように森林を経済的に生かす工夫をして環境税を生かせば、300万円以上にできる…、そんな事を目標に取り組んでいる。都会の喧騒の中で馬車馬のように尻を叩かれて過労死する程の目に会う位なら多少、所得が少なくても意義ある生を生きられるなら森林暮らしも良いじゃないか。

第一期通常総会

1998年11月から「緑鷗／さがみ湖・森づくりの会」として森林整備活動を開始して4年4ヶ月を経過して「NPO法人緑のダム北相模」になり5年6ヶ月のこの日、法人としての第一期通常総会を迎えた。以下、総会の状況報告。

日時：2003年6月15日(第三金曜日)

3時45分～4時45分

場所：相模湖やまなみ交流センター

参加：総会は、正会員73名中32人(委託状含む)の参加、定款24条の規定により成立。

議事：司会辻田彪さんの進行で先ず、代表理事鈴木重彦氏の挨拶に続いて、議長に園田安男さんを満場一致で選び開催した。石村事務局長の事業経過報告は、さがみ湖・森づくりの会活動発足からNPO法人緑のダム北相模に至る経過報告の後、第一期2002年度の事業報告と第二期2003年度事業計画の提案。

第一期通常総会



- 1) 第一期(2002年7月24日～2003年3月31日)事業報告の要旨
期間内の主な活動として2003年度の神奈川県との協働事業の手掛りを得た事と森林整備活動は、森を創る／FSC事業に加えて、森を活す／FCC事業の開始に向けての準備が報告。期間内9ヶ月の活動参加者は、592人であった。大坪浩一氏と鹿島田功一氏の会計監査／適性の報告も総会の承認を得た。
- 2) 第二期(2003年4月1日～2004年3月31日)事業計画報告の要旨
森を創る／FSC事業と森を活す／FCC事業を当法人運営の二本の柱として活動を進める事を採択した。
「森林破壊と言う負の遺産を子孫に残してはならない」とする活動理念を具現化するためには、森林の持続的な維持・管理・保全の経済的な裏付けが必要だとしてこれまで進めてきた活動の事業化を検討する事を採択した。
- 3) 活動参加費の疑問は、運営会で検討する事になった。

総会は予定とおりに終了して、館内レストランでの懇親会は予定以上の時間を経過して散会した。

月次運営会

6月7日の第一土曜日活動の終了後、駅前の桂北公民館に29人の仲間が集まった。以下、記録を担当する金児さん・須藤さんからの報告。

1、運営会の任務／

- 1) 各プロジェクトの計画を全体で確認する。
- 2) プロジェクト相互の連携を運営会でとる。
- 3) 会の全体で取り組む活動について、検討する。
- 4) 地域の事、他のグループの事、行政との関係のような情報と意見の交換の場とする。

2、役員会の役割 法人組織全般にわたる問題の責任を果たす。

3、運営会の役割 活動面での討議、意思決定、活動の求心力を付ける。

4、現在検討課題

1) 運営委員会の役割の確認

2) 運営体制

- 1、事務局／議長：園田、記録書記：金児・須藤
- 2、運営委員会日程と場所の確定：園田が決めて伊藤が手配する。
- 3、運営委員への連絡体制：金児・須藤
- 3) プロジェクトと主要メンバーの確認／Pは、プロジェクトの略、先頭の氏名は責任者。

- ・ 森林整備P 大日向：富沢、鈴木(寛)、鈴木(孝)、田野口、加藤(孝)
- ・ 炭焼きP 大坪：潮田夫妻
- ・ 園芸(寛)P 清水：丸茂、兼松、潮田夫妻、須藤
- ・ はたけP 須藤：潮田夫妻、伊藤
- ・ 養蜂P 西、：黒川
- ・ 生態系P 篠田：林
- ・ 緑の学校P 斉藤：篠田、藤島、林、鈴木(孝)
- ・ 甲州古道復活P 加藤(孝)：斉藤、須藤、金児、大坪
- ・ 地域通貨リバー 吉田：伊藤
- ・ 間伐材活用P 大坪：兼松、畑野

* 各プロジェクトは、当面の活動計画を作成する事

4) 報告／「緑のダム学校：斉藤」、2)「甲州古道：加藤」、3)「みどりの基金（セブン-イレブン）環境パートナーシップ：辻田」の経過報告があった。

* 同日同時刻に交流センターでの役員会が早めに終わって、地元の重鎮／尾形さん、永井さん等、6人の役員も運営会に合同参加した／石村。

その他の報告

1、5月29日／相模湖町と早稲田町を繋ぐ。

町の活性化対策で、過疎になった早稲田町を復活させた商店会の安井潤一郎会長と知り合って森と湖の町／相模湖町の自然の素晴らしさを話したら「何か一緒にやれないか」の話しになった。早稲田が過疎町だって？。そりゃそうさ。大学の町早稲田は、学生が町の人口より多くて大学が1年の1/2が休みになるのだから。

「何か一緒にやれないか」の話しを相模湖町に話したら、元気になった早稲田町と交流することは良い事だと、そんな事から相模湖町と早稲田町の交流が始まった。そこで去る、5月29日、ゴミゼロ作戦に取り組む早稲田を見学する事になって町の人々と連れ立って出かけた。ゴミゼロ作戦は結構、

面白く参考になった。

後日談：相模湖町のやる気、そんな事を意気に感じた安井会長が6月18日、高遠町(長野)～早稲田の活性化提携先の高遠からの帰りに相模湖町に立ち寄ってくれて、町役場で溝口町長を交えて町の活性化のための知恵を貸してくれた。相模湖町の活性化は、甲州古道の復活プロジェクトなど、加藤さん・斉藤さんなどとも一緒に進めている。早稲田との話は、丸茂さんが中心になって相模湖町と協働してくれている。

3、活動報告：

- 1) 第一土曜日活動：若柳嵐山の森：6月7日、曇り、28人が集まった。各班に分かれていつもの通り。雑草の成長の早いこの時期、畑の草むしりには、5人が応援に入った。バレイショの白い花が収穫の予感を感じさせた。
- 2) 第二日曜日活動：小原本陣の森：連日の活動となった6月8日は、さすがにバテたか、参加8人。森の入り口付近では、小原町の人々が道路沿いの雑草を刈り取っていて、スッキリした風景になっていた。森林作業は、先月の続き小原の人々と同じ場所の林床整理。午後の作業で斉藤さんが倒木整理に入っていたが、向うの窪地で死角に入っていた金児さんに整理木が倒れかかった。窪地だった事が幸いして、大事に至らなかったが、津久井日赤病院で手当てと肩のレントゲンを取った。本当に森は、予測の付かない事が起こる。
- 3) 第三日曜日活動：若柳嵐山の森：6月15日、曇り、63人参加。神奈川県との協働事業「緑ダム体験教室」は一般参加の人々を加え27人の授業となった。斉藤教室長、篠田主任指導員、林副指導員の指導の下、回を重ねるに従って、貴重な水源の森を守る活動に発展している。県/企画部から木内課長、相模湖町から岡本部長などの参加もあった。森林は、膨大で行政ともキチンと協働活動が必要だから、こんな形で内容のある形に育って行くのは有り難い。
お昼は、鍋奉行班が取れたてのバレイショ料理を準備してくれた。また、お昼休みに養蜂班の採取した交じり気の無い本物蜂蜜と木酢の即売を行った。作業終了後は、第一期通常総会を相模湖交流センターで開催した。
・後日談：翌々日、県企画部から「内容の伴う良い活動でした。一步、進めたいので相談したい」の連絡があった。

… 森林活動の詳細は、HP参照。

-
- | | |
|--|---|
| 1) 7月5日(第一土曜)：若柳嵐山の森
9時30分、森に集合、弁当持参
参加費300円、同日/運営会 | モットー/急がず、休まず、楽しく、無理せず、ポチポチ…
そして、沢山のご意見、参加下さい。 |
| 2) 7月13日(第二土曜)：小原本陣の森
9時15分、駅前集合、弁当持参
参加費300円、甲州古道活動 | 名 称/さがみ湖・森づくりの会(NPO法人緑のダム北相模)
事務局/〒154-0023 世田谷区若林3-35-9
T&F/お世話係 石村 黄仁/自然科学研究所内 |
| 3) 7月20日(第三土曜)：若柳嵐山の森
9時30分、森に集合、飯のみ持参
参加費500円、里山交流 | 協 働/セブンイレブン：みどりの基金・神奈川県/企画部
H P : http://www008.upp.so-net.jp/kitasami
支援団体：国土緑化推進機構、世界自然保護基金
観音ジャパン/環境財団 |